



創立：1980年(昭和55年)1月10日
 会長：岩田 修司
 幹事：堀 慎治
 クラブ広報委員長：湯澤 勇生
 例会日：毎週木曜日PM12:30～
 会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
 名古屋市中区栄1丁目3-3
 ヒルトン名古屋910号
 TEL：052-211-3803
 FAX：052-211-2623
 MAIL：2760nagoya@mizuho-rc.jp
 URL：http://www.mizuho-rc.jp/

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2014～2015年度
 国際ロータリーのテーマ
 LightUp Rotary
 ロータリーに輝きを

2014～2015年度
 国際ロータリー第2760地区
 ガバナーのテーマ
 集まるう・語るう・楽しもう

2014～2014年度
 名古屋瑞穂ロータリー会長のテーマ
 感謝の気持ちを持って、
 ロータリーライフを楽しもう

第1697回例会

～私の心に残るロータリー体験を語る月間～
 クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2015年5月21日(木) 晴れ 第44回

司会：田中宏会場委員
 斉唱：「我等の生業」
 ゲスト：東三河分区担当ガバナー補佐 中島忠幸さん
 デジター：新城RC 川合和彦さん 加藤栄志さん

会長挨拶

岩田修司会長

今日は、「頭がいい」「頭が悪い」という様な言い方をしますが、「頭がいい」人とはどういう人の事を言っているのか?という事でございます。世の中の一般的な回答を調べてみますと、小中学生では「勉強のできる人」という単純明快な答えでございませぬ。



次に、高校生ですが、「勉強のできる人」に加え、「計算の速い人」とか「偏差値の高い人」といった大学受験を背景にした具体的な回答が増えるとともに、「物知り・博学な人」といった知識量に言及するものが入ってきます。大学生になりますと、これらの学校の成績や一般の知識量に関係するものに加え、「IQの高い人」「頭の回転が早い人」「思考と創造性のある人」など知識を動員したスピード感の加わった回答が出てきました。ここまで来ますともはや記憶力だけでなく、今評判になっている地頭力の入り口にさしかかり、考えるという脳の働きが云々され始めてきているという事でございませぬ。

次に、社会人の回答についてですが、その前に有名な方で広く世の中で評価されている各界の第一人者が学生時代どうだったか?触れてみたいと思います。

まずは、アインシュタインの小学校時代のニックネームは「のろまな奴」で勉強ができない上、協調性もなく、先生からは退学を勧められたそうです。また、ビルゲイツは数学だけは抜群だったものの、小学校時代は問題児で転校の勧告を受けたそうでございませぬ。司馬遼太郎は、大阪上宮中学で300人中291番の成績だったそうです。

これらの事実や実態を頭におき、社会人100人に頭のいい人という質問をした結果でございませぬが、多種多様な意見があった訳であります。それらを整理してみますと、記憶力、計算力、理解力、コミュニケーション力、忍耐/継続力、判断/決断力、チャレンジ/実行力、発想/創造力、先見/洞察力、思考/問題解決力、統率/人間力などにまとめる事が出

来るそうです。これらの特に後半の項目は、地頭力に深く関係するものばかりであり、アインシュタイン、ビルゲイツ、司馬遼太郎らはおしなべて学校の成績という分野だけでは測る事の出来ない地頭力が発揮されていたという事だそうす。小中学生が指摘する知識や物知りといった分野は、もはやパソコンやインターネットの方がはるかに優れた代役を務めてくれる訳であります。明日何が起こるか分からない混迷の時代に突入している今日、ますます未知の分野に取り組みねばならない未来志向の「考える頭脳」すなわち今風の地頭力を持っている人が本当の頭がいい人だという事でございませぬ。次回は地頭力についてお話をしたいと思ひます。

ニコボックス

山本英雄ニコボックス委員長

- ・5月は結婚記念日と誕生日ですが家族は祝ってくれませぬ。中島さん、川合さん、加藤さん、本日はよろしくお祈ひします。堀 慎治さん
- ・5月13日、日本赤十字全国大会に出席し、皇后陛下、秋篠宮、常陸宮、三笠宮、高円宮、四妃殿下を間近に拝し光栄でした。鈴木 圓三さん
- ・岐阜美濃の委員会ではお世話になりました。内田 久利さん
- ・5月30日に県芸の奏楽堂でパッサのコンサートに出ます。入場無料ですのでぜひおいで下さい。尚、昨年コンサートは音楽の友2014年度コンサートベスト10に選ばれました。平野 好道さん
- ・中島ガバナー補佐、川合分区幹事、加藤副幹事、遠い所をお出掛け頂きありがとうございます。今日はよろしくお祈ひします。関谷 俊征さん
- ・5月18日が結婚記念日だった事を失念しておりました。どうやって挽回するか、お知恵を貸して下さい。田中 宏さん
- ・久しぶりの例会出席です。福岡でPM2.5に遭遇して、喉が不調です。福岡の皆さんは大変です。森 裕之さん

出席報告

山本英雄出席委員長

会員65名 出席43名 (出席計算人数45名)

出席率 81.9% 5月14日は補填により 89.1%

幹事報告

堀慎治幹事

- ・5月21日(木)13:40から次年度予定者会議をヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて行ひます。
- ・5月28日(木)はR規定に基づき休会となります。
- ・6月4日(木)第12回理事会をヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて行ひます。

・5月21(木)、6月4日(木)の例会にて、ネパール地震災害義援金を募ります。入り口にボックスを設置しますので、寄付をお願いします。

委員会・同好会報告

社会奉仕委員会：近藤茂弘委員長

4月にベジファームで植えたどんぐりが、双葉の芽を出しました。また四つ葉になる頃に植え替えを行う予定ですので、皆様のご協力をお願い致します。

卓話 東三河分区分担当ガバナー補佐 中島忠幸さん

実体験の中で感じた日本の防衛

最近、集团的自衛権等、国の安全保障に関する議論が盛んになってきました。私としては国の存在に関わる重大な事ですので、喜ばしいと思うと同時に、やっと普通の国になってきたなと思っています。私の自衛隊での経歴はかなり以前なので、これから述べる事はあまり正確ではないかも知れませんがお許し下さい。



簡単に私の経歴を述べます。

- ・昭和47年に防衛大卒業 陸上自衛隊入隊
- ・昭和47年～昭和53年 北部方面隊(北海道)方面ヘリコプター隊(札幌)
- ・昭和53年～昭和57年 南西混成団(那覇)101隊
- ・昭和57年～昭和59年 中部方面隊 ヘリコプター隊(八尾)
- ・昭和59年～昭和61年 総監部 防衛部
- ・昭和61年8月 三等陸佐で退職

私が国を守る仕事として防衛大学を目指していた頃は、自衛隊は憲法違反だと言われる風潮があり、こうした話題さえタブー視されていました。そんな中で私が防衛大学を目指したのは何故かと言いますと、単純にパイロットになって飛行機に乗ってみたいという事がありました。また、私の父方・母方の祖先が職業軍人であり、母方の祖母に育てられる中で戦死した息子達の話聞いてきました。なので自然と国を守る仕事は重要だと思い、防衛大学を目指していくことになりました。

大学を卒業してすぐに、北海道の勤務を希望し、北部方面部隊というヘリコプター隊でヘリコプターとプロペラ機を操縦しておりました。パイロットとして日々訓練に明け暮れました。私は陸上自衛隊のヘリ部隊だったのですが、要求される地点にいかにも早く隊員を派遣するかといった訓練を行っていました。大規模な作戦はヘリコプターで運んで戦闘するので、早く運ぶと同時に、運んでいる途中で敵のミサイルから逃れるためには地面すれすれに飛ばなければなりません。谷間などは、地形を熟知しないと飛べないので、訓練で飛ぶ際には、調べた上で臨みました。その他は、災害に備え、災害訓練など種々の活動をしてきました。

アメリカやヨーロッパでもそうですが、国土で演習訓練をするにあたっては国の平和のため仕方がないという空気があります。しかし、日本では苦情が寄せられ、苦情があった家の上空は避けて通ることもしました。

北海道勤務をしていた当時はソ連の東西冷戦真っただ中で、しかも北海道は国防の最前線でした。陸上自衛隊は当時13個師団あったうちの4個師団置いており、戦車を中心として主力が置かれていた訳です。航空自衛隊は千歳に戦闘機を置き、海上自衛隊の主な敵は潜水艦ですので、稚内、大湊に配置し、宗谷海峡、津軽海峡の周囲を索敵、監視をしていました。臨戦態勢とは言いませんが、主としてアメリカ軍が来るまで守りを固めるという戦略の元で北海道に重点を置いていました。

北海道勤務が終わりまして、次は沖縄に勤務しました。私の伯父が沖縄で戦死した訳ですが、生き残った伯父の部下の方がお墓を作るということで、それを見学に行きました。そこで私も沖縄に勤務したいと思いい、希望を出したところ、沖縄勤務が決まりました。沖縄はのんびりしているかなと思っていましたが、某国から何かしらの行動があり、北海道と同じく、緊迫した状態で勤務をしていました。

沖縄もヘリコプターを主体とし、那覇空港から離島間の空輸の訓練と、アメリカ軍との共同訓練が主でした。また、離島の民間人の急病人を運ぶ事も24時間体制で行っておりました。

沖縄では当時からヘリコプターがよく飛んでいたわけですが、近隣国への抑止力という意味では、これはなくてはならないと思います。騒音や安全問題で抵抗があるようですが、一国防防ということ考えると必要な事だと思います。その事を一般の人にも分かってもらうため、東三河分区分でも話をしてきました。国防に携わる人を評価するというのは、4つのテストで言う真実であり公平な事であると思います。

私が自衛隊にいた当時から、国民は安全をタダだと思っているのではないのでしょうか？しかし、自衛隊をはじめ、多くの人々が国防に携わっていて、その事によって平和が守られている事を広く認識してほしいと思います。



5月20日(水)に中島ガバナー補佐をお招きして名古屋ゴルフ倶楽部・和合コースにて親睦ゴルフを開催しました。

例会のご案内

- 今週 5月28日(木) R規定に基づき休会
- 次週の卓話 6月4日(木)
テ－マ：日本での1年間の経験
卓話者：青少年交換留学生 Lea Stalderさん
- 次々週卓話 6月11日(木)
テ－マ：暴力団の資金獲得活動の現状について
卓話講師：前 公益財団法人暴力追放愛知県民
会議専務理事 井口弘造さん